

表-6.1.1(9) 確率年別降雨強度式

確率年	石垣島	備考
2年	$r_2 = \frac{11000}{t+125}$	「赤土等流出防止対策技術指針(案)H7.10」 (沖縄県土木建築部) 「石垣島における短時間確率降雨曲線」 (沖縄県河川課)
5年	$r_5 = \frac{2295}{t^{3/4}+11.2}$	
10年	$r_{10} = \frac{2693}{t^{3/4}+11.9}$	
20年	$r_{20} = \frac{3076}{t^{3/4}+12.4}$	
30年	$r_{30} = \frac{3293}{t^{3/4}+12.6}$	
50年	$r_{50} = \frac{3569}{t^{3/4}+12.9}$	
100年	$r_{100} = \frac{3943}{t^{3/4}+13.3}$	

注. r : 降雨強度 (mm/hr)、t : 降雨継続時間 (分)

(ウ) 透水係数

浸透ゾーン、南側仮設調整池底面の透水係数は、現地での透水試験結果より、表-6.1.1(10)に示すとおりとした。施設規模(容量)の算出にあたっては、浸透面に複数の土質面が現れることから、これらの支配面積により面積按分した平均透水係数を採用した。

表-6.1.1(10) 採用透水係数(現地透水試験による)

施設	種別	浸透面積 (m ²)	透水係数 K(cm/s)
浸透ゾーン I	琉球石灰岩	16,800	3.0E-03
	名蔵礫層	6,500	4.8E-03
	沖積層	22,300	2.4E-02
	計	45,600	
		平均透水係数	1.4E-02
浸透ゾーン II	琉球石灰岩	14,000	4.2E-03
	名蔵礫層	3,100	4.8E-03
	沖積層	3,800	1.5E-04
	計	20,900	
		平均透水係数	3.6E-03
浸透ゾーン II	沖積層	1,800	2.5E-02
	トムル層	4,500	1.3E-03
	計	6,300	1.5E-04
		平均透水係数	8.1E-03
南側仮設調整池	トムル層	20,000	1.5E-04
		平均透水係数	1.5E-04